

三弥井書店

Miyaishoten



新刊案内 2020 秋中世文学会員 特別販売のご案内

価格 全品2割引

送料 実費

お支払方法 郵便局の払い込み用紙を同封いたします

ご注文方法 メール publish@miyaishoten.co.jp
電話 03-3452-8069
FAX 03-3456-0346

お問い合わせ メール publish@miyaishoten.co.jp
電話 03-3452-8069
FAX 03-3456-0346

◇ご注意

- 1 公費・私費の区別をお知らせください。
- 2 公費の場合、公文書の宛名、日付の有無、納品・見積・請求書の枚数をお知らせください。
- 3 送付先をお知らせください。
- 5 その他稼働在庫につきましては小社ホームページよりご確認ください。

右QRコードからも読み取れます。

ホームページ：info@miyaishoten.co.jp からご注文いただいても結構です。



学会注文書

♪本紙で御注文いただければ学会割引でお届けいたします。

メール、ホームページからのご注文の際は**学会員限定販売**と記してください。

三弥井書店

publish@miyaishoten.co.jp

電話 03-3452-8069

FAX 03-3456-0346

書名	著者	本体価格	特別価格	注文部数	公費・私費
大和言葉集	徳田和夫他	7500	6600		
昔物語治聞集	中根千絵他	2700	2376		
日本幽霊画紀行	堤邦彦	2800	2464		
豊後節系淨瑠璃集	安田文吉・安田徳子	7500	6600		
室町物語の形象	沢井耐三	8800	7744		
絵解く 戦国の芸能と絵画	小林健二	3500	3080		
幸若舞の展開	須田悦生	9700	8536		
唱導文学研究第12集	福田晃他	8500	7480		
在外絵入り本	山下則子	13800	12144		
伊勢物語	大井田晴彦	4500	3960		
イソップ絵本はどこからきたのか	加藤康子他	3000	2640		
諏訪信仰の歴史と伝承	二本松康宏	2800	2464		
中世ヨーロッパの聖人と英雄の伝説	高木昌史	2800	2464		
現代に共鳴する昔話	石井正己	2800	2464		
怪人熊楠、妖怪を語る	伊藤慎吾他	2300	2024		
高畠勲をよむ	中丸禎子他	2800	2464		

書名

※小社ホームページより全書籍割引対象となります、ご希望書籍がございましたらお知らせ下さい。

お名前

〒

T E L

ご住所（お届け先）

購入区分：私費／公費（書類の宛名・必要通数をご記入ください。）

日付：要・不要

書類の宛名：

見積書 通・納品書 通・請求書 通

大和言葉集

御予約受付中

徳田和夫・菊地仁・小林健二 編著 A5判・242頁 定価：7500円+税

大和言葉とは、古歌から生成した恋の文句や、宮中での女房詞をいう。また、そこに遊戯的に派生した謎かけの文辞も含むものである。室町後期のお伽草子や、江戸初期の説経淨瑠璃にその用例を多く見る。かかる題の辞書も編まれ、類例が民間にも伝わってきた。

ここに解説と事例集を掲げ、代表的な一本を翻刻し、注釈をほどこした。付録編に他本翻刻、証歌・事項索引、関係論文・研究書目録を配した。以て、伝承文学の一斑ともした。

2020/11/12 発行

内容目次

恋のことばと謎かけ—「大和言葉」導き—

徳田 和夫

お伽草子・語り物にみる大和言葉・謎かけ事例集

徳田 和夫

底本書誌 付、参考A・B・C本略書誌 小林 健二

『大和言葉』翻刻・注釈・補注

主筆 菊地仁 共同討議 徳田和夫・小林健二

・凡例

・翻刻・注釈・補注

・引用文献一覧

付録編

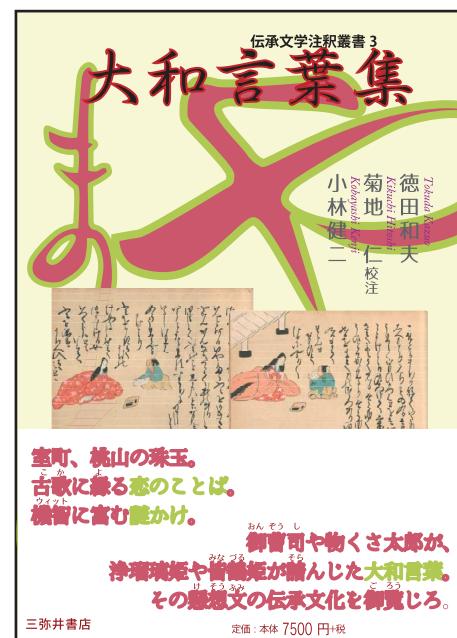
・A本（近世初期写本、一冊）翻刻

・B本（近世初期写本、一帖）翻刻

・底本・A本・B本 証歌索引

・底本項目索引

・『大和言葉』複製・翻刻・関係論文・研究書 目録



豊後節系淨瑠璃集

安田文吉・安田徳子 校注

A5判・242頁 定価：7500円+税

淨瑠璃の段物や歌舞伎の道行、景事を語り、多彩で変化に富み、リズミカルな拍子と印象的な旋律で歌舞伎の中で高揚した一局面を担った。底本には最古本を選び、翻刻本文は詞章のみならず、ルビ・文字譜等可能な限り原本の再現を試みる。注釈は音楽性の高い本資料を鑑み、語句および語り口や曲節・文字譜について施す。

ISBN978-4-8382-3373-1

2020/6/17 発行



ISBN978-4-8382-3368-7

2016/10/12 発行

予章記

佐伯真一・山内譲 校注

A5判・266頁 定価：5800円+税

伊予の『古事記』であり、『平家物語』であり、そして室町の現代史である。伊予中世史研究の基本文献。記紀的神話伝承や文書・文献の引用、創作などが混然一体となった河野氏の歴史叙述の方法に伝承の可能性を見出す。



ISBN978-4-8382-3306-9

シリーズ続巻書目一覧

説教才学抄／筆結物語・十二類絵巻 // 神道集／医談抄・医家千字文注◆他

昔物語治聞集

中根千絵・加美甲多・久留島元 編著

A5判・並製・196頁 定価：本体2700円+税

貞享元年(1684)に出版された説話集。内容は『宇治拾遺物語』と『古今著聞集』から説話を抽出し編纂しなおしたもの。元禄14(1701)年板『昔物語治聞集』刊本6巻7冊(東北大学附属図書館「狩野文庫」)を底本とする。江戸時代初期に流行した軍記物語の登場人物や物、身近な古社の由来、『和漢朗詠集』などの文化的教養を面白く取り入れられることをもぐろんに編纂されたと思われる。近世における、説話への興味・関心、連想の在り方をうかがい知る重要な書物の翻刻本文と全ての挿絵を公開する。

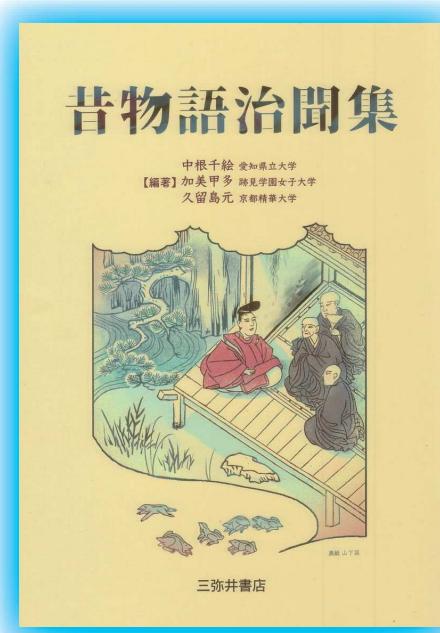
目次

凡例／まえがき／解説／序から巻7／あとがき

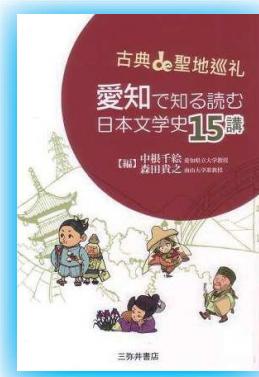
1例:巻1目録

目録 2020/10/8 刊行

- 第一 上総守時重日吉の神感に預る事(聞7)
- 第二 水無瀬山の池人とりの事(聞603)
- 第三 哥の徳により風波の難をのがれし事(聞165)
- 第四 陽成院ばけものゝ事(治158)
- 第五 広貴妻の訴により閻魔王宮へめさるゝ事(治83)
- 第六 ぬすびと脣築を感じる事(聞429)
- 第七 武徳殿ばけものゝ事(聞589)
- 第八 修行者百鬼夜行にある事(治17)
- 第九 三河といふ童発心の事(聞323)
- 第十 法花経聴聞する猿の事(聞680)
- 第十一 双六の口論にて人をころす事(聞504)
- 第十二 あづま人生贊をとゞむる事(治119)
- 第十三 山門の僧鬼になる事(聞495)
- 第十四 絵仏師家の焼るをみてよろこぶ事(治38)
- 第十五 蛇針におそれし事(聞694)
- 第十六 浄藏法師前生の屍にある事(聞46)
- 第十七 御堂関白殿の犬晴明等きとくの事(治184)
- 第十八 雲客ふな岡にゆきて虫ふく事(聞587)
- 第十九 清水寺の額彩色で不思議ある事(聞290)
- 第二十 春日の御告にて伊房額を書事(聞293)
- 第二十一 高野大師を五筆和尚といふ事(聞293)
- 第二十二 虎の鰐をとる事(治39)
- 第二十三 道命阿闍梨いづみ式部の許にて読経五条の天神聴聞の事(治1)
- 第二十四 空也上人念佛すゝめ給ふ事(聞47)
- 第二十五 同き上人の臂觀音院僧正いのり直す事(治142)



ISBN978-4-8382-3371-7



改訂版 愛知で知る読む日本文学史15講 古典で聖地巡礼

中根千絵・森田貴之 編

46判・216頁・定価：1800円+税

【目次】

- 第一講 熱田 「日本書紀」 / 第二講 引馬野 「万葉集」 / 第三講 古渡 「日本靈異記」 / 第四講 八橋 「伊勢物語」
- 第五講 国府 「古今著聞集」 / 第六講 犬頭神社(三河) 「今昔物語集」 / 第七講 兔足神社 「宇治拾遺物語」
- 第八講 野間 「平治物語」 / 第九講 阿波手の杜 読曲「反魂香(不逢森)」 / 第十講 津島 狂言「千鳥」
- 第十一講 甚目寺 室町物語「姥皮」 / 第十二講 矢作 古淨瑠璃「淨瑠璃御前物語」 / 第十三講 伊良湖岬 「笈の小文」
- 第十四講 清洲 「絵本太閤記」 / 第十五講 有松・鳴海・笠寺 「東海道中膝栗毛」

好評
二刷り出来

日本幽霊画紀行

死者図像の物語と民俗

堤 邦彦著 A5判・カバー装・246頁 定価：2800円+税

夏のお盆の一日、たまたま訪れた古寺の本堂の掛かっていた幽霊画を目にする。無名の画家の作品であっても死者を迎える盆の空間に融け込み、異彩を放つ幽霊画の存在感。その源泉には、絵をめぐる幽霊済度の物語や、掛け幅自体を雨乞いの呪物に使った仏教民俗の歴史が潜む。

本書は美術史の見方を離れて、幽霊画の物語と民俗を追いかける。東北から九州に及ぶ各地のお寺が所蔵する隠れた名品を取り上げ150点のカラー図版と合わせて解説する。死してなお子を育てる「子育て幽霊図」、魔除けになった血みどろの「うわなりうち図」、伝円山応挙の絵をめぐる講談の世界など。

内容案内

2020/9/10刊行

第一章 寺と幽霊画

I 高僧絵伝から幽霊画へ—死者救済の思想と図像化—

コラム1 東南アジアの幽霊女房

II 子抱き幽霊図の原風景—産死供養の図像—

III 円山応挙伝説考—幽霊画をめぐる「物語」の成立—

コラム2 青楼の絵師・祇園井特

第二章 血族の証明

I 幽霊画の秘密—金沢・鶴林寺—

II 失われた絵の帰還—会津美里町松沢寺—

III 奥州四十九院家の記憶

コラム3 幽霊の交情

第三章 寺蔵幽霊画を巡る旅

I みちのく幽霊画紀行—呪具としての死者図像—

コラム4 絵師のユーモア・自像幽霊画

II 幽霊画のまち—弘前市禪林街—

III 御用絵師の女靈救済

IV 薄幸の女靈図—丹後夕日ヶ浦—

V 「産女の幽霊」を祀る—長崎光源寺—

コラム5 災害と幽霊画

第四章 幽霊画と江戸怪談

江戸はなぜ女靈の時代となったのか—後妻打ち怪談をてがかりとして—

お問い合わせ

三弥井書店

電話03-3452-8069

<http://www.miyaishoten.co.jp>

送り先・書類の宛先

●条件●注文 返品条件付 FAX 03-3456-0346

日本幽霊画紀行

江戸の高僧伝説

異界百夜語り

俗化する宗教表象と明治時代

ご注文数
冊

貴店印

私費 公費 いずれか〇を付してください



ISBN978-4-8382-3372-4

関連書籍

江戸の高僧伝説 2800円

異界百夜語り 1800円

俗化する宗教表象と明治時代

—縁起・絵伝・怪異—2800円

室町物語の形象 怪奇ロマンとユーモア

沢井耐三 著

A5判・上製・374頁 定価：本体8800円+税

妖怪や本地物、異類婚など様々な「怪奇」と、常識はずれや誇張、言葉遊び、風刺などの辛辣でブラックな「笑い」を軸に、豊饒、多岐な室町のお伽草子世界の魅力に迫る。

目 次

2020/1/10 刊行

第Ⅰ章 怪奇と風雅の間

『うたたねの草子』—二人同夢の怪異と浮舟残像—

『鼠草紙』—人獣交姦の悲劇、隠された身上書—

『浅間の本地』—さまよえる物語の中世・近世—

第Ⅱ章 説話的空間

『狐の草子』—狐媚と賀陽良藤説話—

『幻夢物語』—稚児の敵討と枯骨報恩説話—

大阪市立美術館蔵『化物草紙』—絵画化された『今昔物語集』の怪奇説話—

『音なし草紙』再論—親王とは誰か？教訓か、艶笑か—

第Ⅲ章 異類の小宇宙

『ふくろふ』—艶書における謎々とレトリック—

フクロウ物語の系譜

—『鴉鷺合戦物語』・『ふくろうの草子』・『あだ物語』—

『鼠猫論』—猫と鼠、火花散らす論争—

『医文車輪書』—戦国武将の医術とユーモア—

『鴉鷺合戦物語』—空想と風刺のいくさ物語—

『精進魚類物語』—流布本再評価・山科言継本の周辺—

第Ⅳ章 歴史と文学の間

『見聞諸家紋』編者考—「石井康長」という人物について—

『家忠日記』の戯画—一撃甕救児図・文字絵の人丸ほか—

物売りの呼び声—「菜かう」「菜さう」「菜かはう」—

『永正五年狂歌合』注解—困窮する公家たちの自嘲のうた—

第Ⅴ章 資料翻刻

大阪市立美術館蔵『化物草紙』

『鳥物語』(『ふくろふ』)

『浅間由来記』(『浅間の本地』) 架蔵

『武田実記』愛知県新城市・鳳来寺蔵



ISBN978-4-8382-3358-8



室町物語研究 絵巻・絵本への文学的アプローチ

沢井耐三 著 A5判・390頁・定価：8400円+税

成立・読者層の異なる短編の物語作品を丁寧に読み解き、物語世界に表現される中世の思想や民俗・文化、人々の生活の様相を垣間見る。

室町物語と古俳諧 室町の「知」の行方

沢井耐三 著 A5判・470頁・定価：10000円+税

中世、室町時代に生まれた知的な「笑いの文学」世界を探求する、室町末期の下克上の価値観を反映して生まれた俳諧文学の系譜を、『和漢狂句』から貞徳俳諧初期に探る。巻末には初の『筆結の物語』全文翻刻をはじめ四種の翻刻資料を収載。

絵解く 戦国の芸能と絵画 描かれた語り物の世界

小林健二編 B5判・カバー装・216頁 定価：3500円+税

室町後期に語り物芸能として愛された幸若舞曲。16世紀末には絵巻や絵本などの絵入り物語として広く享受された。

語り物芸能が絵画化し、流布する様相と文化史的意義を、国文学と美術史学の視点で解明。カラー版で紹介する。

未紹介資料として、個人蔵『源義経一代記図屏風』、手錢記念館蔵『烏帽子折物語絵巻貼付屏風』を収録。巻末に「幸若舞曲絵入り本一覧」を付す

内容案内

2020/3/19刊行

◆序論 描かれた語り物の世界

『源義経一代図屏風』を読む 小林健二

手錢記念館蔵烏帽子折物語絵巻貼付屏風 解題・翻刻 稲沢里

◆平家物語図扇面画帖を読む

海の見える杜美術館蔵「平家物語扇面画帖」について

—場面解釈と本文離れをめぐる検討— 鈴木彰

江戸時代前期の平家物語図扇面について

—海の見える杜美術館所蔵「平家物語扇面画帖」を中心に— 龍澤彩

◆幸若舞曲・古淨瑠璃を描く

語り物系絵巻をめぐって—附『堀江物語絵巻』断簡四枚紹介— 石川透

ベルリン国立アジア美術館蔵《烏帽子折絵巻》—分析と分類— 酒井公子

江戸前期の幸若舞曲絵巻・絵本の制作

—「大織冠」と「敦盛」を例として— 恋田知子

風俗表現と物語絵—『むらまつ』の場合— 斎藤真麻理

◆絵師と筆者

狩野春雪による幸若舞曲絵巻制作 谷川ゆき

作品紹介 住吉如慶筆「堀川夜討絵詞絵巻」について 下原美保

賀茂別雷神社若宮祢宜西池季通の日記に見える狩野永納 海野圭介

◆付篇

幸若舞曲絵入り本一覧



ISBN978-4-8382-3364-9

お問い合わせ

三弥井書店

電話03-3452-8069

<http://www.miyaishoten.co.jp>

送り先・書類の宛先

FAX 03-3456-0346

ご注文数
冊

貴店印

私費 公費 いずれか〇を付してください

幸若舞の展開 芸能伝承の諸相

須田悦生著 A5判・カバー装・388頁 定価：9700円+税

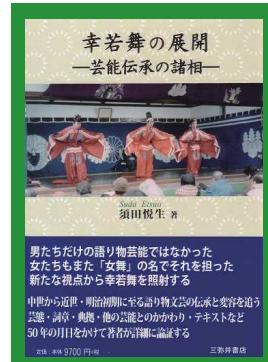
中世から近世・明治初期に至る語り物文芸の伝承と変容を、芸態・詞章・典拠・他の芸能とのかかわり・テキストを詳細に紐解き、新たな視点から照射する。

内容案内

- 第1章 幸若舞の形成／第2章 幸若舞芸能集団の活動／
- 第3章 幸若舞作品の構成／第4章 『平家物語』と幸若舞作品／
- 第5章 『曾我物語』と幸若舞作品／第6章 戦国軍記と幸若舞／
- 第7章 古淨瑠璃等と幸若舞／第8章 「女舞」と幸若舞の変容／
- 第9章 甲斐で書写された幸若舞テキスト
- 第10章 キリストン資料と幸若舞テキスト

索引（曲名・項目名）

2018/10/31刊行



ISBN978-4-8382-3342-7

在外絵入り本 研究と目録

山下(高橋) 則子編 B5判・上製・388頁 定価：本体13800円+税

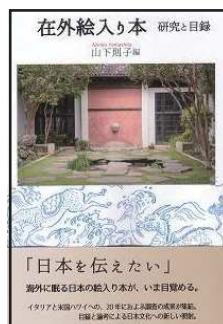
近世絵入り本を多数収録する、在伊古典籍目録を厳密に作成し、近世絵入り本研究進展のためのツールである。さらに在外稀観本を利用した先進的研究論考7本を付載し、海外に所蔵される絵入り本の研究上の有意性を示した。

内容案内

- 序（ロバートキャンベル）
- はじめに（山下則子）
- 第一部 ホノルル美術館（リチャード・レインコレクション）
等に所蔵される在外絵入り本—善本の紹介と考察—

- ◇絵入折手本（浅野秀剛）
- ◇『たまひろひ』と『山城名勝風月集』、そして『都名所画譜』（伊藤善隆）
- ◇桃隣舎文辰著『池西言水四季独吟評釈』について（伊藤善隆）
- ◇ホノルル美術館蔵黄表紙『積孝雪振袖』（『敵討政五郎話』）影印・翻刻（二又淳）
- ◇レインコレクション『獸絵本つくし』の研究（山下則子）
- ◇ボストン美術館蔵、北斎筆、未刊読本挿絵『大日本將軍記初輯』について（浅野秀剛）
- ◇マリオ・マレガ文庫蔵黒本『眉間尺』（山下則子）

2019/10/31刊行



ISBN978-4-8382-3355-7

第二部 在伊日本古典籍—目録と解題—

- ◇サレジオ大学マリオ・マレガ文庫日本書籍目録
- ◇「サレジオ大学マリオ・マレガ文庫日本書籍目録」補遺 碑文谷教会旧蔵書目録
- ◇ヴェネチア東洋美術館所蔵日本書籍及び関連資料目録
- ◇ナポリ国立図書館ルッケージ・パッリ文庫所蔵日本古典籍目録
- ◇ジェノヴァ市キオッソーネ東洋美術館 善本解題・目録
- ◇在伊日本古典籍目録初出雑誌一覧
- ◇在伊日本古典籍目録 索引

伊勢物語 現代語訳・索引付

大井田晴彦 校注

A5判・上製・335頁 定価：本体4500円+税

日本文学史上、最も親しまれてきた古典作品の一つである『伊勢物語』。文学のみならず、美術、芸能など、さまざまな領域に多大な影響を与えてきた。

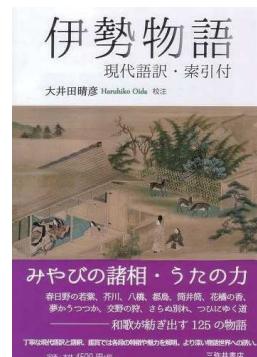
現代語訳：本文に忠実であるだけでなく本文と現代語訳を上下に配し適宜語句を補い、単独でも味読できる形式を工夫。

語訳・補注：語義・文章表現・和歌の他出・典拠・時代背景・人物考証など、本文理解に必要な事項について説明。

鑑賞：各段の特徴や魅力について、いっそう理解を深めるべく、より踏み込んだ読解を試みる。

解説：『伊勢物語』の全体像や文学史的意義、在原業平の人物像など、本質的かつ重要な問題について示す。

2019/10/11刊行



ISBN978-4-8382-3356-4

百人一首宗祇抄 姉小路基綱筆

小川剛生 著 A5判・カバー装 定価：1200円+税

連歌師宗祇が東常縁の教えを受けまとめた注釈書。百人一首最初の注釈書の中でも最古写本の一つとして古典研究に史上きわめて有益な資料。慶應義塾大学斯道文庫本。

ISBN978-4-8382-3335-9

2018/4発行



三井書店

皇后になるということ 美子と明治と教育と

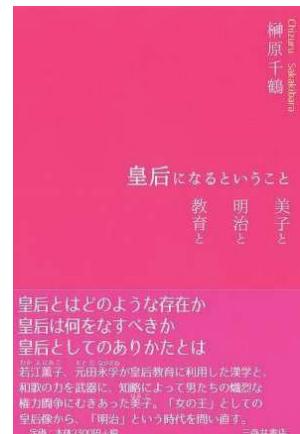
国家権力に最も近く、明治期の女性教育において先導的役割を担った皇后美子を通して明治初期の教育の一端にアプローチする。美子になされた皇后教育と、美子が女性教育に果たした役割を考え、イメージで語られがちな「明治の精神」の内実を問う。

神原千鶴著

46判・カバー装・240頁

定価：本体2300円+税

2019/12/18刊行



ISBN978-4-8382-3357-1

内容案内

- 第一章 天皇のために！問われる覚悟
- 第二章 ふたりの指導者と「嫉妬はするな」の教え
- 第三章 武器としての学問
- 第四章 国民への道徳教育『明治孝節録』
- 第五章 新しい時代の模範的女性像『婦女鑑』

皇后とはどのような存在か

皇后は何をなすべきか

皇后としてのありかたとは

若江麗子・元田永吉が皇后教育を利用した學識と、和歌の力を武器に、知識によって男たちの懶惰な權利闘争にむきあつた美子。「女王」としての皇后像から、「明石」という時代を開いた道。

三井書店

第12集 シリーズ全12冊完結！！

唱導文学研究 第12集

福田 晃・中前正志 編

8500円

[論攷編]

「秀範—聖海」相承（地方拠点寺院蔵資料の周辺）——近時過眼資料の紹介と展開——牧野 和夫

比叡山内論議と大衆……佐藤 愛弓

『今昔物語集』と法相宗修驗……原田 信之

堅牢地神説の展開——降魔成道譚をめぐって——児島 啓祐

『神道集』の法脈——編者の周辺を尋ねる——福田 晃

馬飼文化と観音信仰——英雄叙事詩としての「田村磨呂」——福田 晃

近世期における祢津氏嫡流の家伝について——新出の祢津氏系図を端緒として——二本松泰子

[注釈編]

『神道雜々集』下冊「大宮本地事」……山本 淳

[資料編]

萩之坊乘円筆「鴨長明絵像」（石川大山歌贊）について——高橋秀城

叢山文庫蔵『隨身抄』（抄出）——解題・翻刻——大島由紀夫

唱導文学研究 第11集

福田 晃・中前正志 編

8500円

2017/6/20刊行

ISBN978-4-8382-3314-4

[論攷編]

鎮護国家の仏教の儀礼と芸能——迦陵頻伽の飛翔、浄土の美声——松尾 恒一

聖徳太子の兵法——文保本系「太子伝」をめぐって——福田 晃

『神道集』本文の形成環境に関する考察——本地仏歎徳詞章を起点として——大島由紀夫

『説経才学抄』覚書——演変の様相——藤井 佐美

『神道雜々集』典拠攷——覚明『三教指帰注』について——佐々木雷太

行誓書写本「八幡宮愚童訓」考——小助川元太

『今昔物語集』と『大乗法苑義林章』——道慈・神叢論義説話の意味——原田 信之

京都女子大学図書館蔵『七小町物語』翻刻と覚書——中前 正志

近世期における鷹術流派の派生と放鷹伝承——依田氏伝来の祢津家鷹書を端緒として——二本松泰子

「百合若説経」（壱岐・対馬）の伝承世界——福田 晃

[注釈編]

『神道雜々集』下冊「四、山王権現叢竺麓時分之事」……山本 淳

唱導文学研究 第10集

福田 晃・中前正志 編

8500円

[論攷編]

『今昔物語集』世俗部と『俊頬髓脳』——原田信之

院政期仏教界における論争と秩序——栄西の『改偏教主決』を中心に——牧野淳司

称名寺に伝わった『平家物語』周辺資料——『法花懺法聞書』『頌疏文集見聞』——松田宣史

澄俊と南北朝の動乱——安居院流唱導の変容と展開——清水眞澄)

『神道雜々集』上冊と『明文抄』『河海抄』——貞治五年頃の知識と学問の視点から——佐々木雷太

「富士山縁起」と放鷹文化（下）——福田晃

[注釈編]

『神道雜々集』 上冊 四十七～五十一——佐々木雷太

[資料編]

京都女子大学図書館所蔵『小町家の集』——前田善子氏旧蔵本再出現——中前正志

高橋伸幸氏旧蔵『信濃国善光寺如来縁起』（下）——菊池政和

高橋伸幸氏旧蔵『和本蔵書目録』——福田晃・菊池政和



諏訪信仰の歴史と伝承

二本松康宏 編

A5判・カバー装・260頁 定価：本体2800円+税

歴史学・伝承学・考古学・民俗学の多岐にわたるジャンルから視線を注ぎ、中世神話の奔流から諏訪信仰を鳥瞰。今、新たな「諏訪学」を問う。カラー掲載による新出写本『神氏系図』・『諏訪信重解状』・『諏訪講之式』・『伊那古大松原大明神縁起』の全文本文翻刻など、資料も豊富に掲載。

2019/1/17刊行

内容案内

【目次】

諏訪学への道しるべ(二本松康宏)

遺跡と寺院創建伝承にみる中世前期の諏訪地方(柳川英司)

『広疑瑞決集』と殺生功德論(中澤克昭)

細川氏内衆丹波上原氏と諏訪信仰—諏方同名氏族の一族分業論(村石正行)

『諏訪大明神絵詞』成立についての試論

—室町幕府奉行人諏訪円忠の絵巻制作(石井裕一朗)

ISBN978-4-8382-3344-1

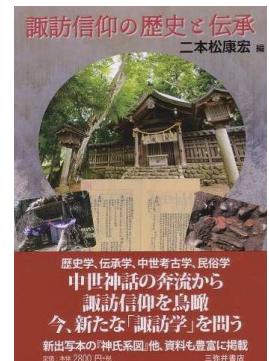
『諏訪信重解状』の新出本と『諏方講之式』—大祝家文書の中の諏訪縁起—(二本松泰子)

諏訪縁起の再創生—『伊那古大松原大明神縁起』の情景—(二本松康宏)

諏訪信仰における野焼きと集団狩猟(永松敦)

◆資料紹介◆

諏訪市博物館所蔵大祝家文書『神氏系図』影印(二本松康宏)



諏訪信仰の中世

二本松康宏 編 A5判・カバー装・340頁 定価：本体4800円+税

陬波大王の縁起、諏訪の地に繰り広げられた守矢との神戦、甲賀三郎の物語などの神話に分け入り、御射山の狩り祭、我が身をもって神となった大祝の即位と託宣、鷹術の秘儀、神楽と芸能など、受け継がれた伝承と向き合い、神宮寺の本地仏たち、神道集への道、京都諏訪氏の活躍など、中世の諏訪の歴史を紐解く。

現人神となる神事

天皇・出雲国造・諏訪上社大祝

2020/2/28刊行

丸山顕誠著 46判・カバー装・240頁 定価2500円+税

現人神と神話の関係、現人神たちの宗教的な位置づけを論じる。人が現人神になるときの宗教的な作法や根拠を探求する。大嘗祭、火繼神事、職位式を比較し、現人神の神話・歴史・宗教・祭祀的実像に迫る。

内容

第一章 現人神の神話と歴史／第二章 神となる人々と現人神

第三章 現人神になる神事の概要と比較／第四章 神器継承神事／

第五章 神人共食と権力の委任 御門戸屋神事・相嘗・大嘗祭／第六章 現人神になる神事

第七章 現人神にまつわる重要な問題 特徴・天皇への承認・仏事



ISBN978-4-8382-3359-5

美術で読む中世ヨーロッパの 聖人と英雄の伝説

高木昌史著 A5判・カバー装・272頁 定価：2800円+税

地域はケルト系・ゲルマン系・ラテン系、文学のジャンルは聖者伝説・英雄伝説・世界文学を代表する『神曲』、歴史的事象はフランシク王国・十字軍などをテーマとして創作された文学を読み、美術作品をカラー図版と共に鑑賞しながら、波乱万丈の物語が彩る、ヨーロッパの中世像を立体的に浮かび上がらせる。

【目次】

第1部 聖者伝説

『黄金伝説』への案内

A 聖人

竜を退治した騎士—ゲオルギウス / 矢を浴びた殉教者—セバスティアヌス / 砂漠で誘惑された聖者—アントニウス
荒野の苦行者—ヒエロニムス / 清貧の聖人—アッシジのフランチエコ

2020/9/18刊行

B 聖女

- 悔悛した女—マグダラのマリア / 2 イエスの汗を拭った女—ヴェロニカ
- 音楽の守護者—エチーリア

第2部 英雄伝説

『ドイツ伝説集』への案内

A アーサー王伝承圏（ケルト系）

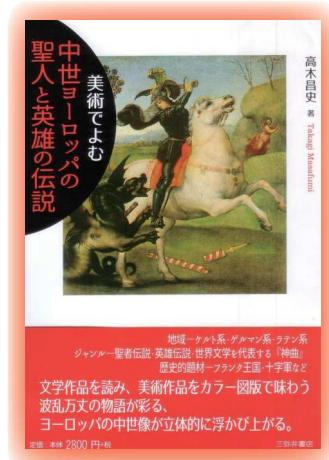
- アーサー王と円卓の騎士 / 2 トリスタンとイジー

B ニーベルンゲン伝承圏（ゲルマン系）

- シグルズの竜退治（『エッダ』） / 2 ジーフリトの死／クリームヒルトの復讐

C フランク王国／十字軍

- カール大帝 / 2 騎士タンホイザー



ISBN978-4-8382-3369-4

関連書

聖書と西洋美術 2800円

ギリシャ・ローマ神話と西洋美術 2800円

第3部 ダンテ『神曲』

ダンテの『神曲』への案内

- 地獄の門／カロン / 2 パオロとフランチエスカ / 3 ダンテの小舟 / 4 ウゴリーノ伯

お問い合わせ

三弥井書店

電話03-3452-8069

<http://www.miyaishoten.co.jp>

ご住所・お名前

●条件●注文 返品条件付 FAX 03-3456-0346

ご担当者様名

美術で読む中世ヨーロッパの
聖人と英雄の伝説

ご注文数

冊

貴店印

高畑勲をよむ 文学とアニメーションの過去・現在・未来

中丸禎子・加藤敦子・田中琢三・兼岡理恵編著

A5判・カバー装・312頁 定価：2800円+税

「高畑氏の作品との関連」を共通のテーマとして、高畑映画自体を含む諸作品の表現のあり方・歴史・思想を対象に多様な文化を論じる「文化論集」。高畑氏インタビュー、小田部羊一氏・中島順三氏座談会の記録、人文系研究者の論文12本を掲載。これからの学術研究の可能性を視野に入れ、高畑氏のテレビアニメと映画、その原作となった文学作品、映画や文学を取り巻くメディア環境を分析する。

2020/4/13刊行

内容案内

◇シンポジウム◇「高畑勲の『世界』と『日本』」高畑勲氏インタビュー
「新しい表現には、まだまだ先があるはずだ」

コラム 秋水一斗 風狂のアニメーション 加藤敦子

◇座談会◇小田部羊一さん、中島順三さんを囲んで
高畑勲さんとアニメーション制作という仕事

コラム 日本アニメのレジェンドたちとの幸せな時間 田中琢三

◆商業アニメ制作用語集 ちばかおり、中丸禎子、大谷泰三

高畑勲と『日本』

火と幽霊—『火垂るの墓』のアニメーション化について 細馬宏通

コラム 「長じゅばん腰ひも」のゆくえ 中丸禎子

個を持った少女の憂愁—『おもひでぽろぼろ』『かぐや姫の物語』の時間の表象 西岡亞紀

走る女と忘れられた帝—『竹取物語』から『かぐや姫の物語』への継承と乖離 中野貴文

「五コマ目」を紡ぐ

—四コマ漫画『ののちゃん』から『ホーホケキョ となりの山田くん』へ 兼岡理恵

物語・風流・淨瑠璃—芸能から読む『平成狸合戦ぽんぽこ』 加藤敦子

『平家物語』読者としての高畑勲—アニメーション映画監督としての感性 鈴木 彰

高畑勲と『世界』

◆桜井利和旧蔵ハイジ関連資料 大谷泰三

マルコはハイジと夢を見る—高畑勲による海外児童文学のテレビアニメ化とその演出 ちばかおり

放送劇音楽としての『母をたずねて三千里』付隨音楽 井上征剛

「わたしはおうきくなりたくない」

—アストリッド・リンドグレーン『長靴下のピッピ』における赤毛と靴と長靴下 中丸禎子

◆高畑さんからひとこと

ブックガイドから見た「世界」の「文学」—無着成恭の選定と岩波・福音館の児童書 佐藤宗子

幻燈劇としてのゲー『ファウスト』—視覚文化史をみわたしつつ 繩田雄二

高畑勲とフランス文学—『ことばたち』と『木を植えた男を読む』をめぐって 田中琢三

高畑勲 関連年表 田中琢三



ISBN978-4-8382-3366-3

お問い合わせ

三弥井書店

電話03-3452-8069

<http://www.miyaishoten.co.jp>

●条件 ●注文 返品条件付 FAX 03-3456-0346

ご注文数冊

貴店印

送り先・書類の宛先

私費 公費 いずれか〇を付してください